

岡山県感染症週報 2011 年 第 25 週 (6 月 20 日 ~ 6 月 26 日)

岡山県内の感染症発生動向調査関連の検査で検出された病原体についてまとめた
[『岡山県病原体検出情報』](#) をホームページに掲載しました。

岡山県では『[腸管出血性大腸菌感染症注意報](#)』発令中！ (6 月 23 日発令)

◆2011 年 第 25 週 (6/20 ~ 6/26) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 23 週 2 類感染症 結核 4 名

(20 代 男 1 名、30 代 女 1 名、60 代 男 1 名、70 代 男 1 名)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O 26 幼児 男 1 名、10 代 女 1 名)

第 24 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 男)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O 26 児童 女)

5 類感染症 梅毒 1 名 (70 代 女)

第 25 週 2 類感染症 結核 1 名 (50 代 男)

3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O 157 幼児 男) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

○手足口病は今週減少しましたが、依然として県内全域で発生の多い状態が続いています。

岡山県は注意喚起を行い、感染予防と早めの受診を呼びかけています。

○ヘルパンギーナは今週も増加しました。

■【速報】第 26 週 腸管出血性大腸菌感染症 2 名

(O 157 児童 男 1 名、O 103 中学生 男 1 名) の発生がありました。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**の発生が 6 月に入り増加しています。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。県内の発生状況、症状、感染予防などについては感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中！』](#) をご覧ください。
なお『全数把握感染症患者発生状況』の表への記載は第 26 週以降になります。
2. **手足口病**の定点あたり患者報告数は、今週減少しました (9.41 → 8.67 人)。しかし、依然として県内全域で、大きな流行が発生または継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 の状態が続いています。また、4 月に採取・搬入された手足口病患者 1 名の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルス A6 型**が検出されました。**手足口病**の詳しい症状、予防については、感染症情報センターホームページ [『【注意！】手足口病が流行しています！』](#) をご覧ください。
3. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者報告数は今週も増加しました (2.33 → 2.57 人)。
4 月に採取・搬入されたヘルパンギーナ患者 1 名の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルス A6 型**が検出されました。
ヘルパンギーナ、手足口病の今週の動向については、『[今週の注目感染症](#)』をご覧ください。
4. **流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)**の定点あたり患者報告数が 23 週から 2 週つづけて増加しました。
流行性耳下腺炎による学級閉鎖が、倉敷市で 1 校ありました。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓		RSウイルス感染症	↑	★
咽頭結膜熱	↘	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	★
感染性胃腸炎	→	★★	水痘	↗	★★
手足口病	→	★★★★★	伝染性紅斑	↗	★
突発性発疹	→	★★	百日咳	↑	★
ヘルパンギーナ	↗	★★	流行性耳下腺炎	→	★★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	→	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↑	★	クラミジア肺炎	→	

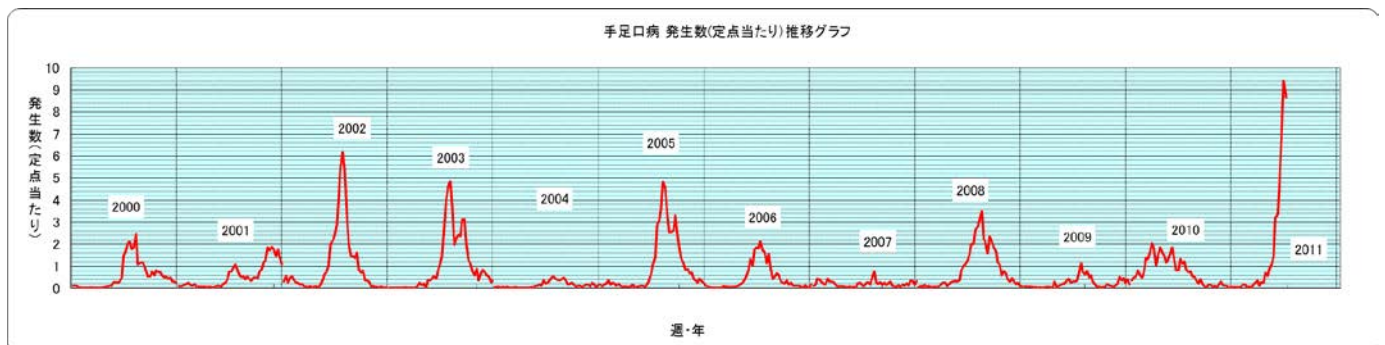
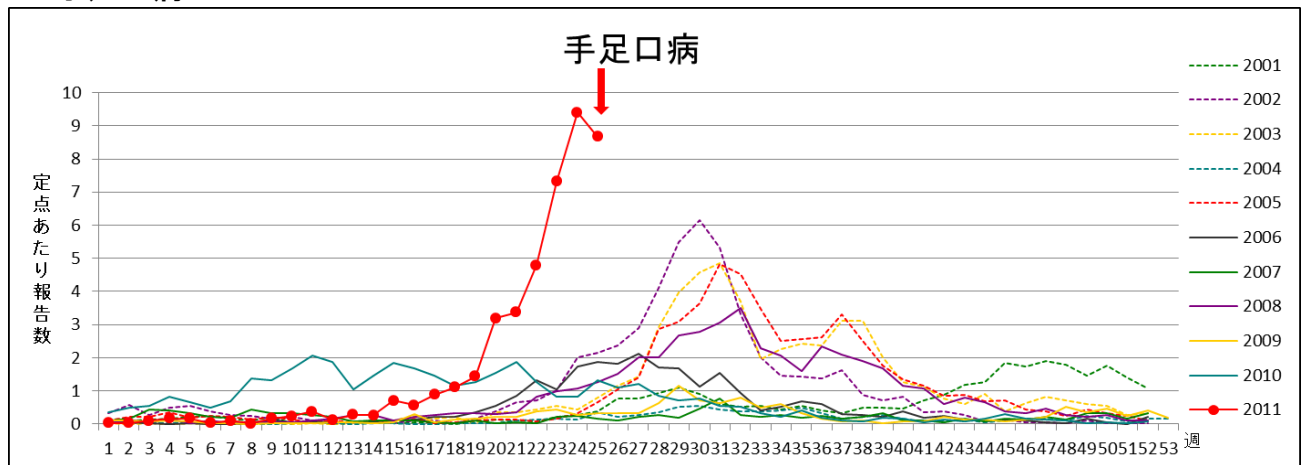
【記号の説明】

前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1~2倍未満の減少 → 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い
 ※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. 手足口病



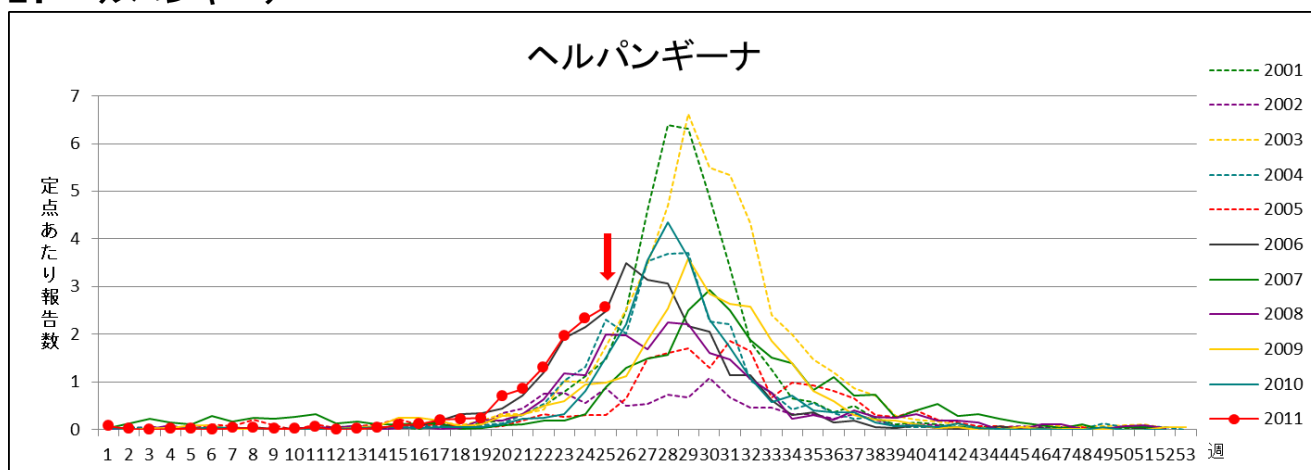
手足口病の定点あたり患者報告数は、先週より減少しました（508 → 468人 定点あたり 9.41 → 8.67人）。
 定点あたり患者数は、岡山市（11.29 → 10.00人）、倉敷市（13.55 → 12.00人）、備前地域（6.20 → 7.20

人) 備中地域 (5.29 → 5.71 人)、備北地域 (4.00 → 5.75 人)、真庭地域 (9.00 → 8.00 人)、美作地域 (11.33 → 7.50 人) と備前地域、備中地域以外では発生が減りましたが、ひきつづき患者数の多い状態が続いています。大きな流行が発生または継続しつつあると考えられるレベル 3 が、県内全域で継続しています。

患者は 3 歳以下に多く見られますが、学童の発生も増えています。手洗いを励行し、感染予防に努めて下さい。手足口病の症状、感染予防など詳しいことについては、感染症情報センターホームページ『**注意！手足口病が流行しています！**』をご覧ください。

4 月に採取・搬入された手足口病患者 1 名の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルス A6 型**が検出されました。岡山県でこのウイルスが検出されたのは、2009 年 5 月以来、また手足口病患者からの検出は、2000 年以降初めてです。

2. ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナの定点あたり患者報告数が今週も増加し (126 → 139 人 定点あたり 2.33 → 2.57 人) 岡山市 (3.21 → 4.64 人)、真庭地域 (1.00 → 3.00 人) での発生が増えました。

ヘルパンギーナは夏に流行する幼児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる夏かぜの代表的疾患です。例年、7月中旬に流行のピークがみられ、今後も発生の増加が考えられます。

患者の年齢は 3 歳以下の幼児が中心で、全体の 70% を占めていますが、年齢の高いお子さんの発生も見られますので注意が必要です。症状は、突然の発熱につづいて咽頭痛が出現し、口腔内に直径 1 ~ 2 mm の小水疱が出現するのが特徴です。

4 月に採取・搬入されたヘルパンギーナ患者 1 名の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルス A6 型**が検出されました。岡山県でこのウイルスが検出されたのは、2009 年 5 月以来、またヘルパンギーナ患者からの検出は 2007 年 7 月以来のことです。

コクサッキーウイルス A6 型は、全国的には、これまでヘルパンギーナ患者から検出される例が多く報告されてきましたが、最近では、手足口病患者からの検出報告が増加しています。今年も、これまでのところ、手足口病患者からの検出報告が大部分を占めています。

詳しくは、**国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報** をご覧ください。

【国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報】

今年のコクサッキーウイルス A6 型検出状況 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-tj.html>

2007-2011 の手足口病からの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf>

2007-2011 のヘルパンギーナからの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data38j.pdf>

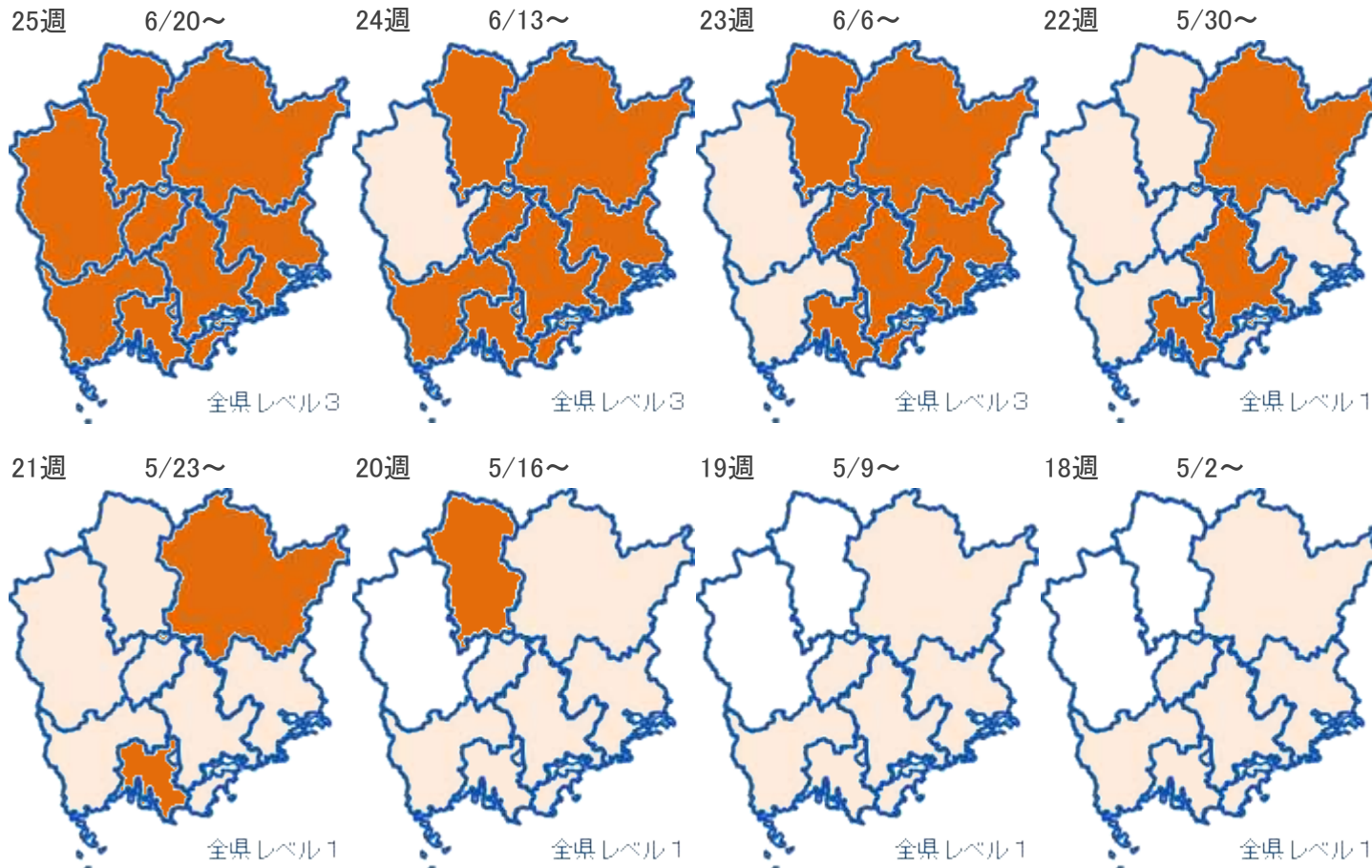
ひきつづき夏に流行が見られる感染症の発生が多い状態です。例年より発生時期が早く、患者数も多くなっています。保育園、幼稚園などでは集団発生する可能性もあります。

いずれの感染症も通常予後は良好ですが、口腔内の小水疱が破れて痛みを伴うため、食べ物や水分の摂取ができにくくなり、脱水症につながる可能性がありますので注意が必要です。

体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調の変化に注意して、早めに医療機関を受診しましょう。



手足口病



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
5	2		0 < 5未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2011年 25週 (2011/06/20～2011/06/26)

2011年6月29日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	3	0.06	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	0.20	3	0.21	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.50	10	0.71	10	0.91	-	-	5	0.71	-	-	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	249	4.61	35	2.50	52	4.73	62	6.20	19	2.71	29	7.25	13	6.50	39	6.50
水痘	83	1.54	31	2.21	27	2.45	12	1.20	1	0.14	-	-	5	2.50	7	1.17
手足口病	468	8.67	140	10.00	132	12.00	72	7.20	40	5.71	23	5.75	16	8.00	45	7.50
伝染性紅斑	12	0.22	4	0.29	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
突発性発疹	33	0.61	18	1.29	6	0.55	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	6	1.00
百日咳	2	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	139	2.57	65	4.64	33	3.00	10	1.00	11	1.57	-	-	6	3.00	14	2.33
流行性耳下腺炎	80	1.48	26	1.86	27	2.45	17	1.70	8	1.14	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	3	3.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 25週 (2011/06/20～2011/06/26)

2011年6月29日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	0.20	3	0.21	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.67
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.50	10	0.71	10	0.91	-	-	5	0.71	-	-	-	-	2	0.33
感染性胃腸炎	249	4.61	35	2.50	52	4.73	62	6.20	19	2.71	29	7.25	13	6.50	39	6.50
水痘	83	1.54	31	2.21	27	2.45	12	1.20	1	0.14	-	-	5	2.50	7	1.17
手足口病	468	8.67	140	10.00	132	12.00	72	7.20	40	5.71	23	5.75	16	8.00	45	7.50
伝染性紅斑	12	0.22	4	0.29	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
百日咳	2	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	139	2.57	65	4.64	33	3.00	10	1.00	11	1.57	-	-	6	3.00	14	2.33
流行性耳下腺炎	80	1.48	26	1.86	27	2.45	17	1.70	8	1.14	-	-	-	-	2	0.33
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	2	0.40	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

黄色地に赤字は地区別感染症マップにおける レベル3 を表しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第25週 2011/06/20～2011/06/26)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

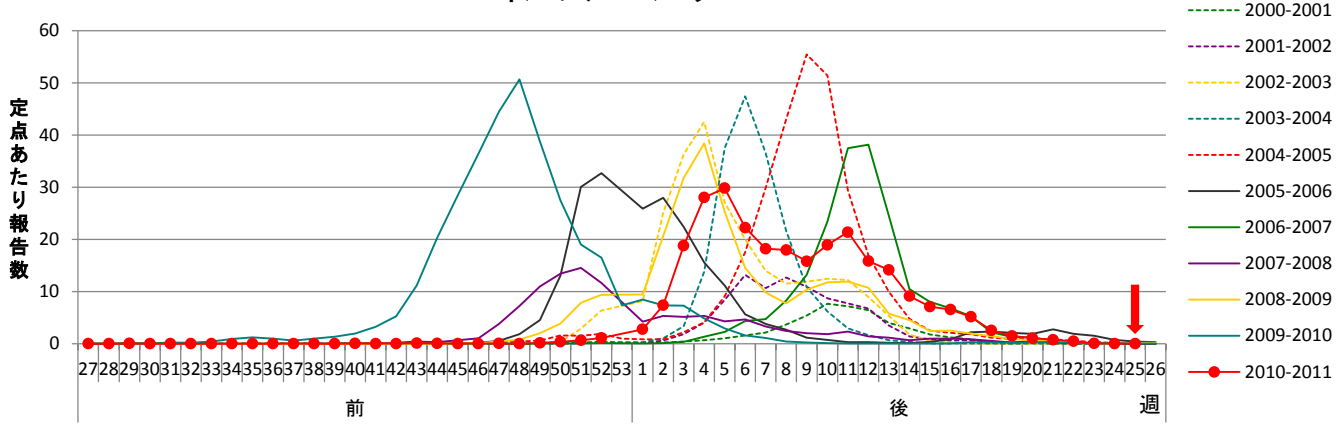
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
咽頭結膜熱	11	-	2	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	-	-	1	-	5	3	5	2	2	3	-	6	-	-
感染性胃腸炎	249	4	19	29	20	21	15	15	15	16	14	4	39	8	30
水痘	83	-	7	17	14	9	16	7	4	3	2	2	2	-	-
手足口病	468	6	58	141	89	46	58	21	13	8	8	5	10	2	3
伝染性紅斑	12	-	-	-	1	1	2	3	1	-	1	1	2	-	-
突発性発疹	33	-	24	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ヘルパンギーナ	139	3	14	35	25	20	16	6	8	1	3	3	3	-	2
流行性耳下腺炎	80	-	-	2	3	10	18	16	15	5	6	1	1	1	2

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	1	1

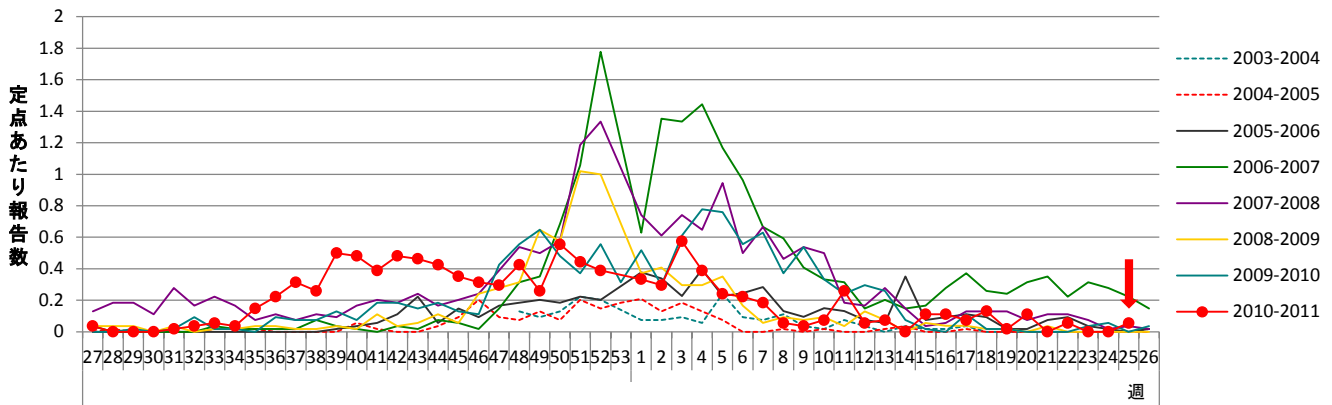
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

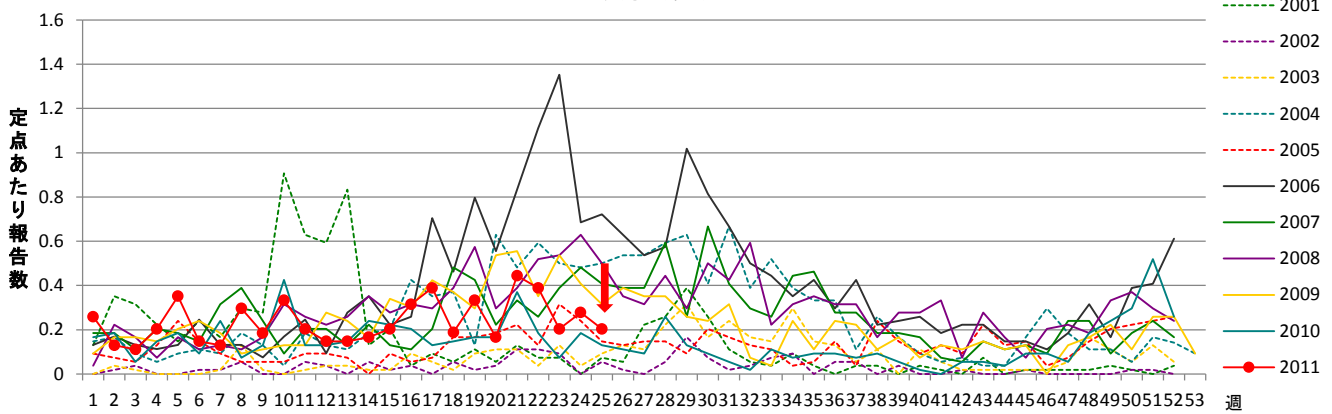
インフルエンザ



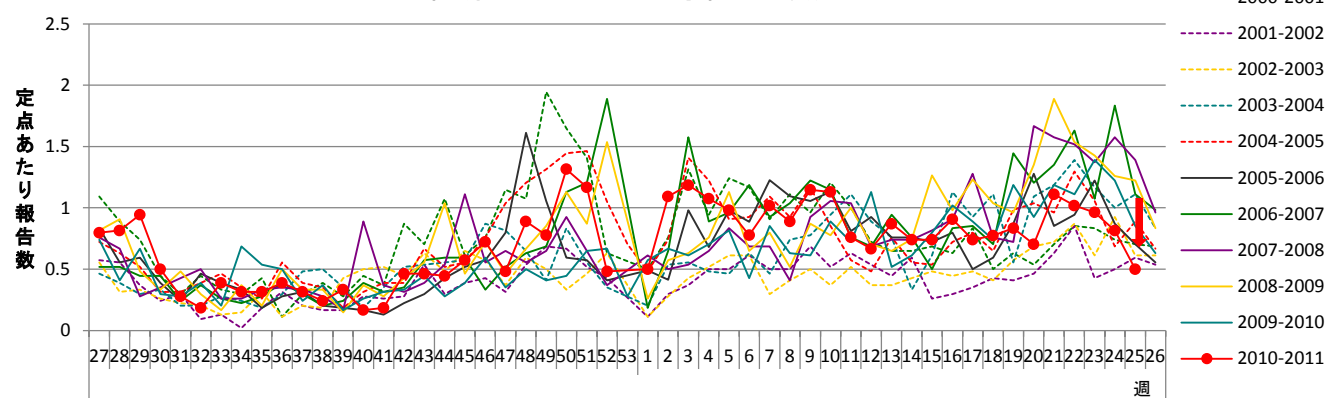
RSウイルス感染症



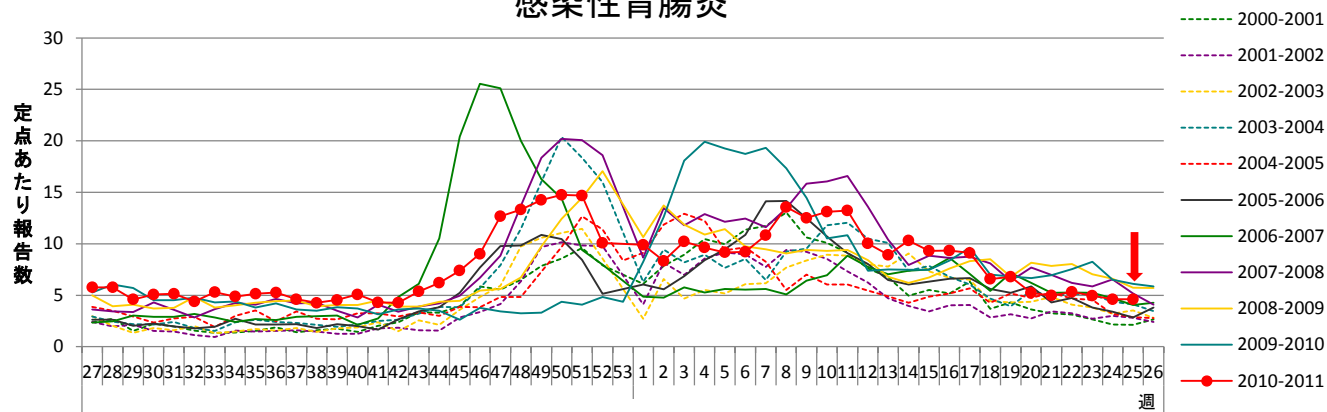
咽頭結膜熱



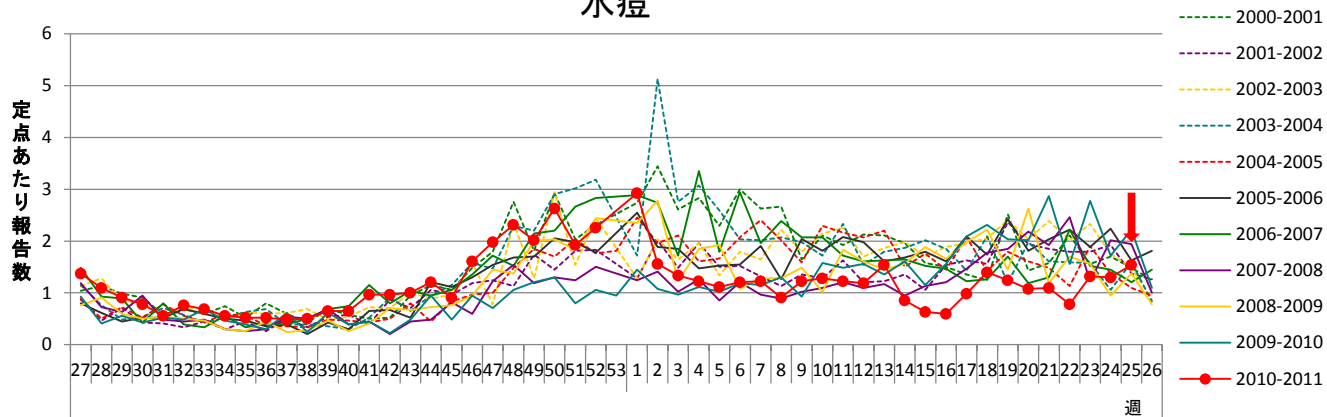
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



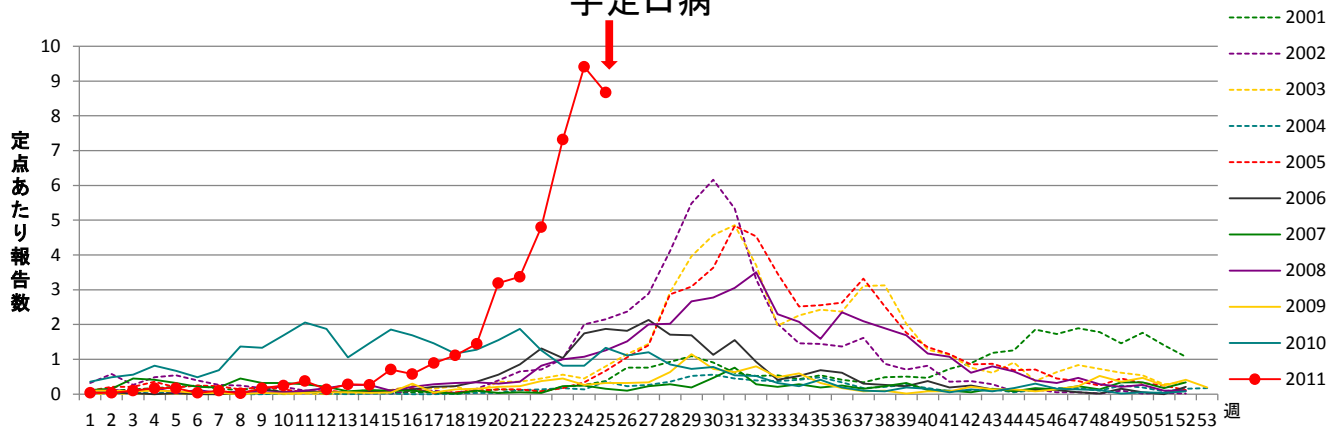
感染性胃腸炎



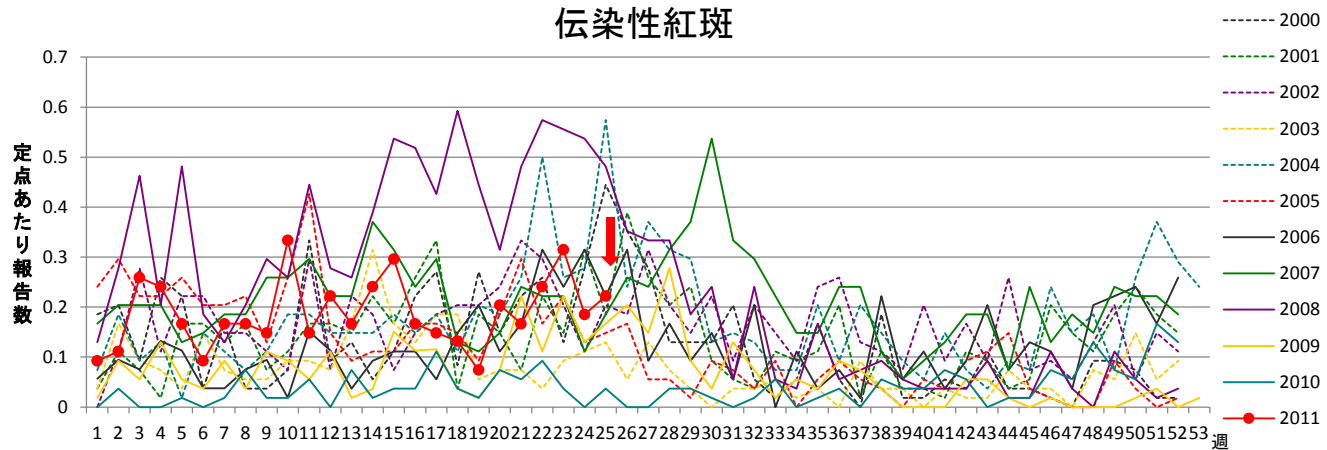
水痘



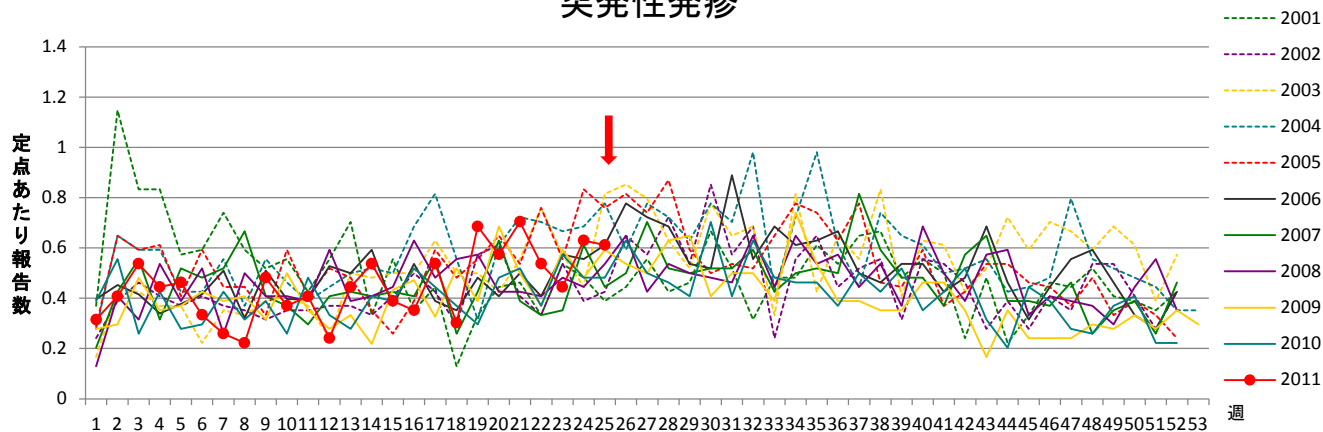
手足口病



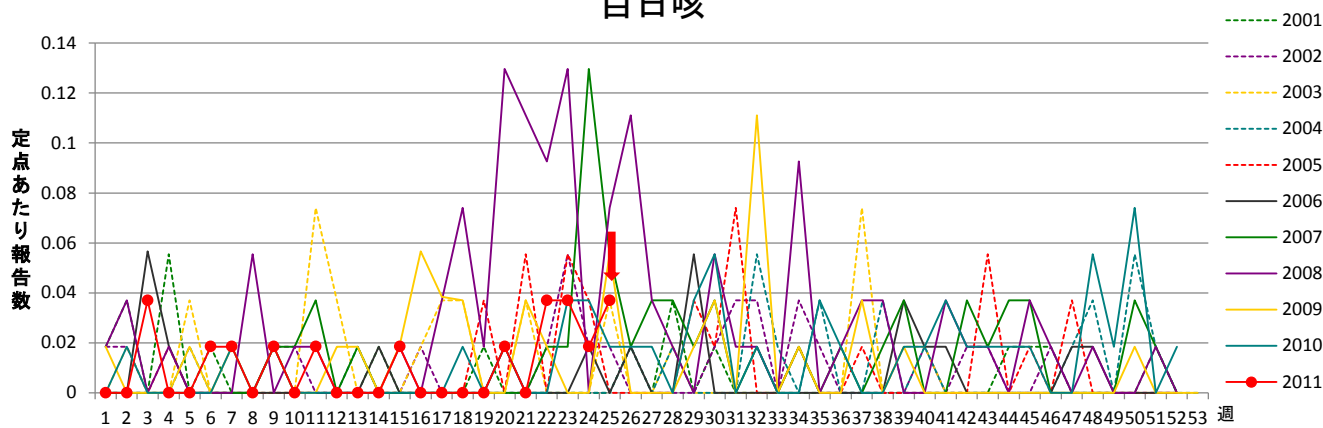
伝染性紅斑



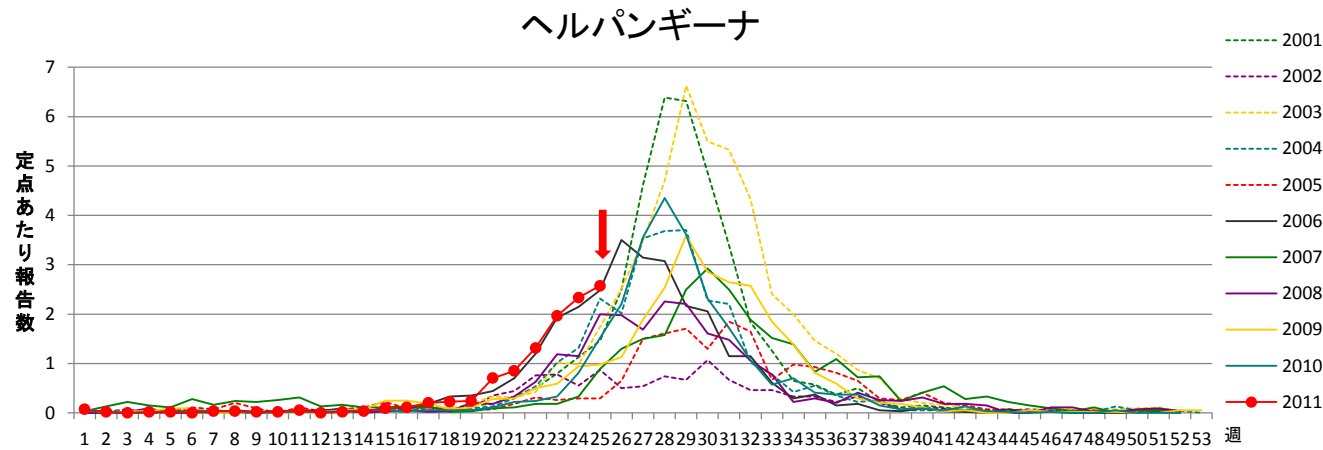
突発性発疹



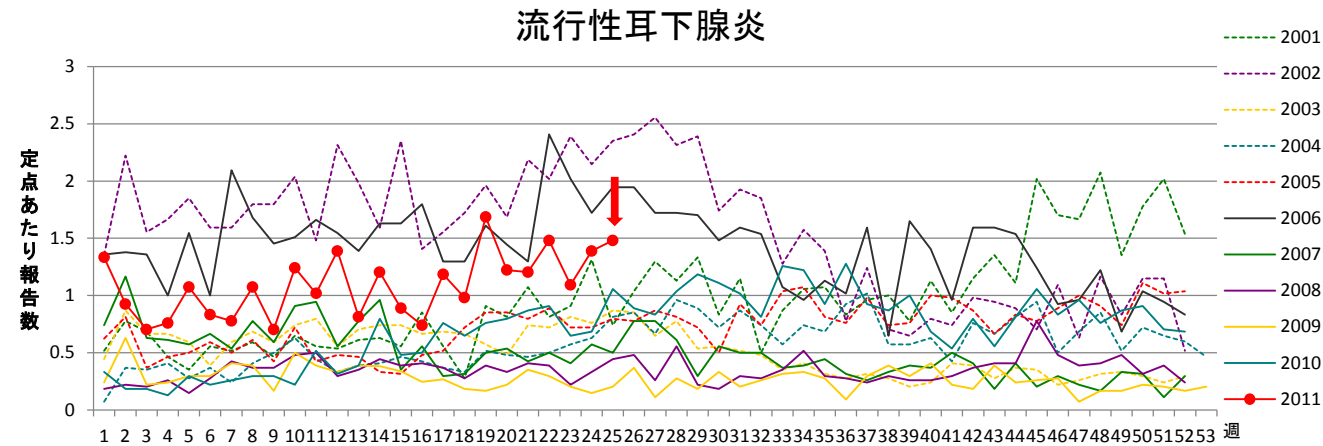
百日咳



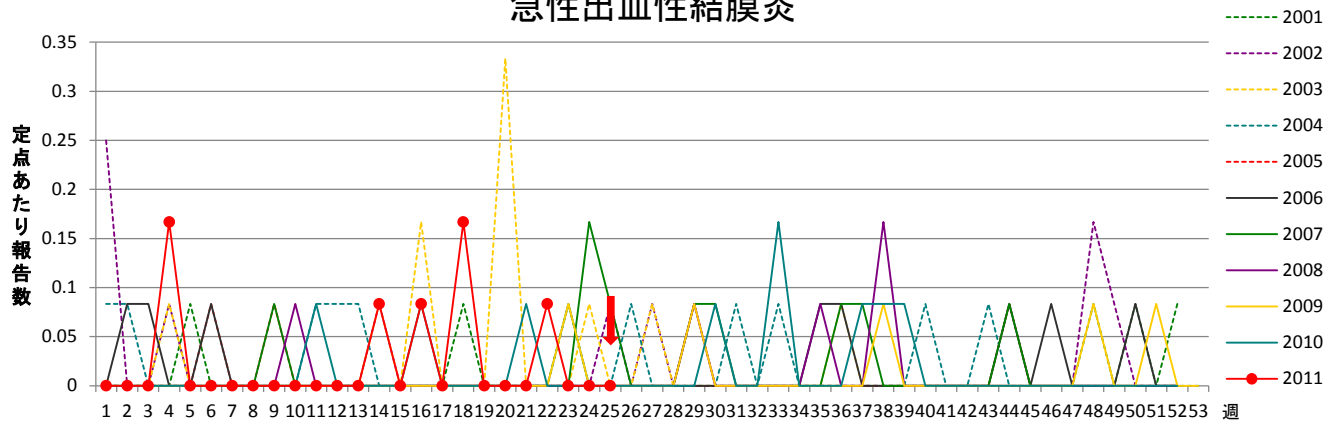
ヘルパンギーナ



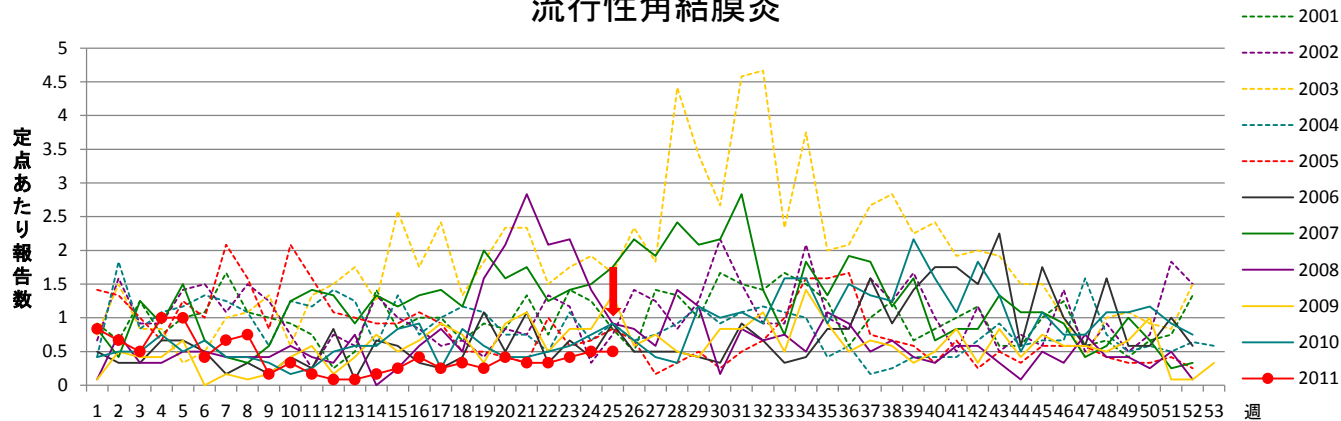
流行性耳下腺炎



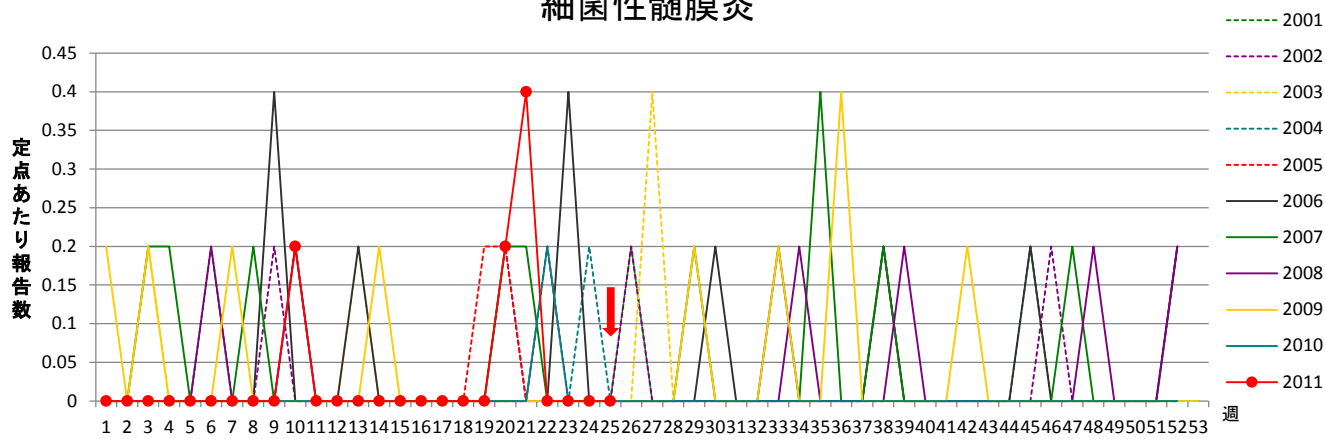
急性出血性結膜炎



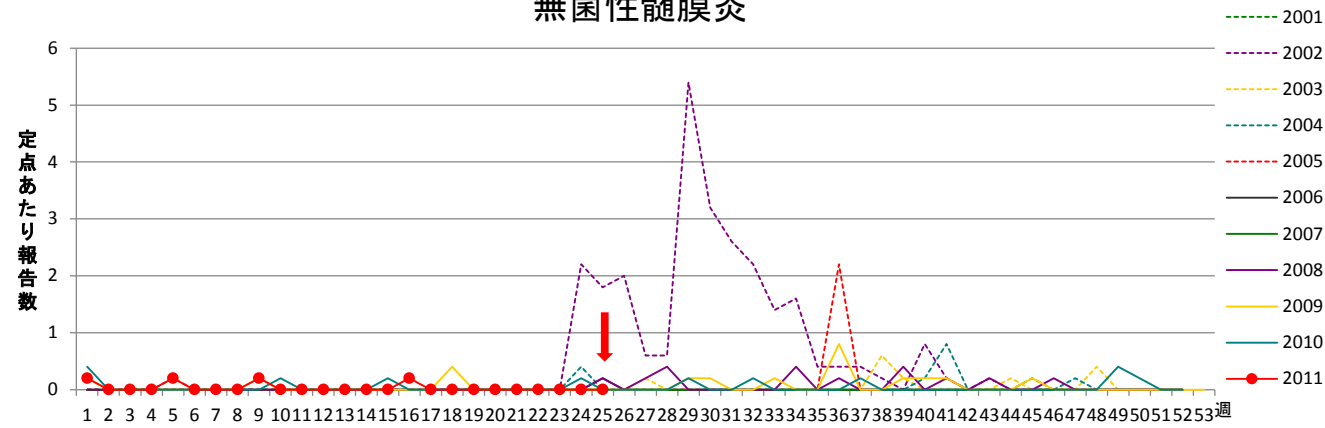
流行性角結膜炎



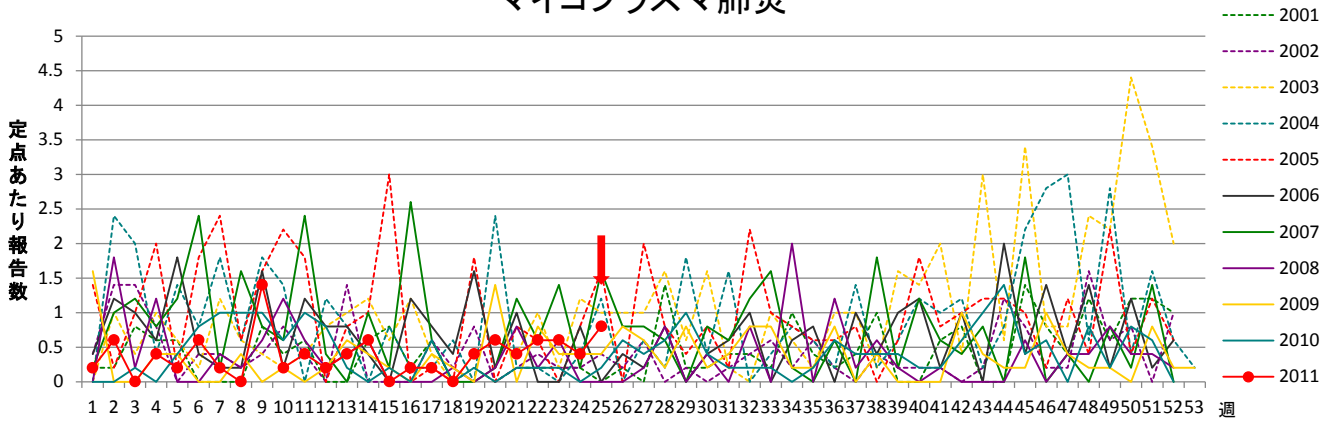
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

